

2015 と 2019 年度岩木健康増進プロジェクト健診に ご参加いただいた皆様へ

下記の研究に用いるため、皆様の情報を利用させていただきますので、お知らせいたします。

研究課題名： 血清セロトニン濃度と過活動膀胱悪化、発症の関係についての検討

研究の目的

過活動膀胱（OAB）は、尿意切迫感、頻尿が中核症状で中年以降の男女に多く発症します。OAB は加齢、動脈硬化、糖尿病、脂質異常症、高血圧などの生活習慣病、うつなどと深く関連するが、病態は未解明です。

セロトニンは、神経伝達物質であり、排尿中枢や膀胱粘膜、膀胱平滑筋には種々のセロトニン受容体が分布しています。しかし、セロトニンと OAB との詳細な関連については未解明です。血清セロトニン濃度低値は OAB の存在と関連していることを示されました。しかし、血清セロトニン濃度が OAB 症状の悪化や発症に関与するかは未解明です。今回の研究では、血清セロトニン濃度と過活動膀胱の関係を縦断的に調査することを目的とします

研究実施期間： 2023 年 9 月 4 日 ～ 2026 年 3 月 31 日
(倫理委員会承認日)

対象となる方： 2015 年と 2019 年の岩木健康増進プロジェクト健診にどちらも参加された方

利用させていただきたい試料・情報について

以下の情報を研究責任者である岡本 哲平の責任の下、標記研究課題実施のために弘前大学内で利用します。

解析データ

2015 年：

- 個人記録票（性別、年齢、身長、体重、ウエスト／ヒップ比、腹囲、血圧、握力、長座体前屈）
- 健康調査票（既往歴、薬物服用状況、労働状況、生活習慣（喫煙、飲酒、運動、睡眠）、うつ質問票、排尿障害質問票（IPSS、OABSS））
- 血液項目（血算、総蛋白、クレアチニン、尿素窒素、尿酸、総コレステロール、中性脂肪、HDL、LDL コレステロール、血糖、ヘモグロビン A1c、ヘマトクリット、インターロイキン 6、フィブリノゲン、血中 FDP、血清セロトニン濃度）
- 尿項目；酸化ストレスマーカー（8-OHdG）

2019 年

- 排尿障害質問票（IPSS、OABSS）、健康調査票（既往歴、薬物服用状況、労働状況、生活習慣（喫煙、飲酒、運動、睡眠））
-

具体的には、2015年の血清セロトニン濃度が排尿障害（過活動膀胱）の程度と有意に関係するかを縦断的に多変量ロジスティック回帰分析で検討します。

なお、本研究で利用する情報は、先行研究「岩木地区住民における健康調査およびこれに基づく疾患予兆法と予防法の開発（承認番号：2014-377-1, 2020-046-4）」で収集し、加工（氏名、住所および生年月日と切り離し、照合のための符号・番号を付与）され、岩木データベースに登録された情報です。

研究成果については、学会発表や論文投稿等の方法で公表されますが、その内容から対象者個人が特定される事はありません。そのため、本研究により個人に還元する臨床的意義のある結果は得られないため、個別の結果については原則としてお答えできません。

研究への利用に同意いただけない場合には、「**情報利用提供停止願**い」をご提出ください。受領後、その方の試料・情報を対象から除外します。ただし、ご連絡いただいた時点で既に研究成果公表済の場合は、該当者のデータのみを削除する等の対応は出来かねますので、ご了承願います。

本研究課題について、より詳細な内容をお知りになりたい場合や、試料・情報の利用に同意いただけない方／その代理人の方は、以下の連絡先までご連絡ください。

本件連絡先	弘前大学医学部附属病院臨床試験管理センター（泌尿器科） 講師 岡本 哲平 住所 〒036-8563 青森県弘前市本町 53 電話 0172-33-5111 Email t-okamoto@hirosaki-u.ac.jp
情報利用停止願送付先	弘前大学大学院医学研究科附属健康・医療データサイエンス研究センター医療データ解析学講座 教授 玉田 嘉紀 住所 〒036-8562 弘前市在府町 5 電話：0172-39-5037(代表) FAX：0172-39-5205